



資料1

大会関係者の輸送用バスの調達及び運用に係る業務委託

2019年3月5日
輸送局

1 審議事項

大会関係者用バスの調達及び運用のため、2017年度に企画審査会を実施した結果、幹事事業者を近畿日本ツーリスト(株)*と決定し、(株)ジェイティービーと東武トップツアーズ(株)を事業協力者として契約を締結した。

2019年度においても、継続的かつ安定的に事業を実施するため、引き続き、特別契約による契約の締結を行う。

*本資料公表時点：KNT-CTホールディングス

2-1 委託内容について(全体)

2020年の大会終了まで、以下の業務を包括的に委託する。
なお、契約については単年度契約とする。

① バス車両及び運転手の確保に関する業務

- 選手やメディアなどの大会関係者の輸送、企業ホスピタリティパッケージの提供に必要なバス車両（概ね2,000台）及び運行に必要な運転手を確保するための業務計画立案、バス事業者との交渉及び調達

② バス運行計画策定支援業務

- 大会時のバス運行に関する計画を立案するための支援業務
⇒ 50ヶ所を超える競技会場や練習会場と選手村・IBC/MPC間や、150を超えるメディアホテルとIBC/MPC間を結ぶ路線などを走行するバスの経済的かつ効果的な運行計画について、大会関係者等からの要望等を踏まえ、組織委員会とともに計画を立案
- 運行管理要員やドライバー等向け業務マニュアルの作成及び研修の実施

③ バス運行管理業務

- 大会時の車両カテゴリごとのバス運行管理業務
⇒ バスオペレーションセンター（BOC：仮称）等での運行管理、選手村・IBC/MPCの輸送モール、各競技会場、非競技会場（空港を含む）における大会関係者の乗車案内

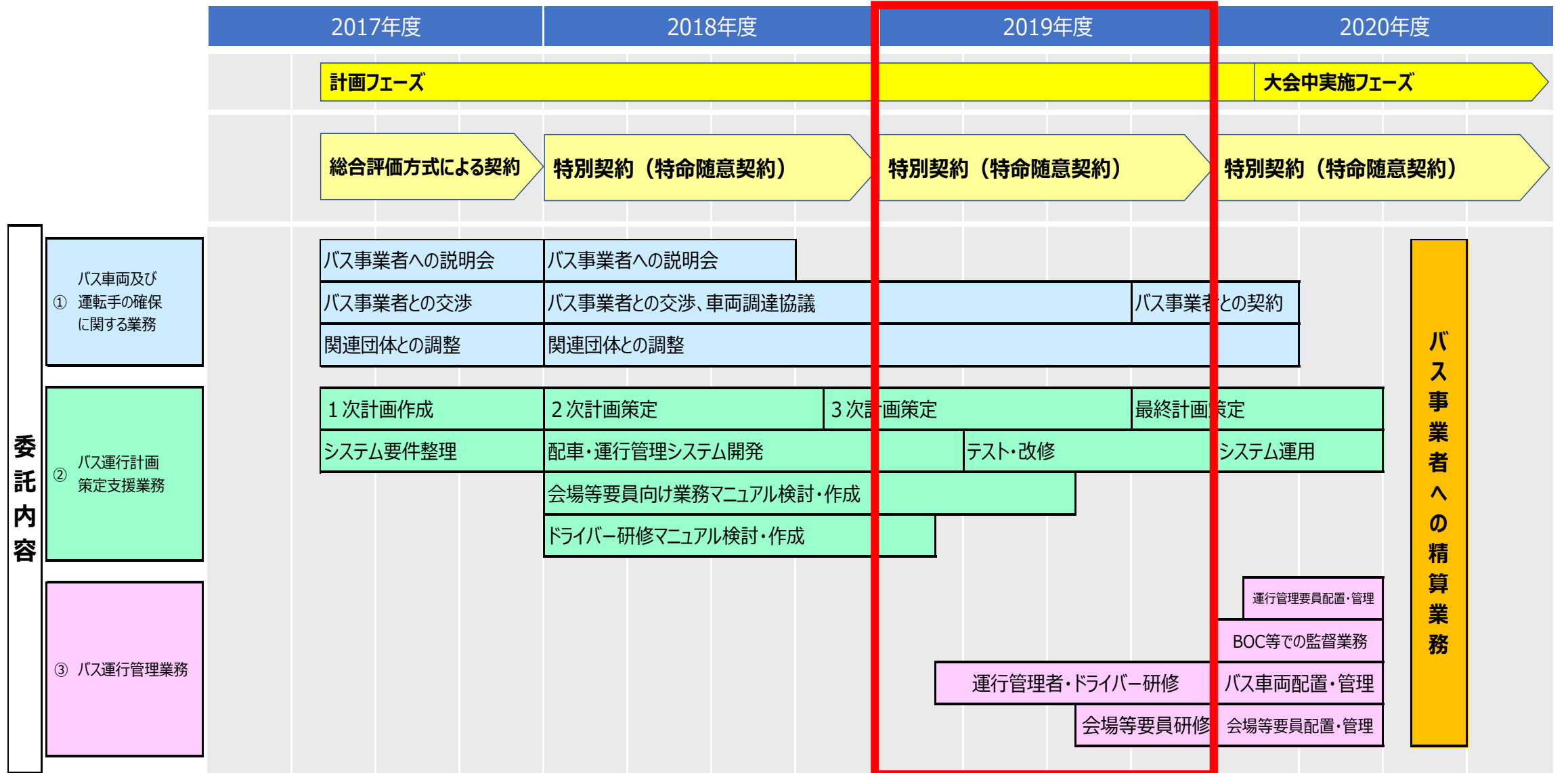
2-2 委託内容について(2019年度)

2019年度は、2017、2018年度に引き続き、バス車両及び運転手の確保に向けた事業者などへの説明及び交渉を行うとともに、バス運行のための計画策定及びシステムの検討・開発、各種マニュアルの検討・作成、運行管理者等への研修計画の策定、実施を行う。

※予算額 : V3の範囲内

費用負担 : 共同実施事業として都・国がパラ経費を負担

【2 参考】 委託内容と全体スケジュールについて



3 特別契約の理由

大会スポンサーである近畿日本ツーリスト(株)*は、2017年度に本件業務の委託契約を締結後、他の大会スポンサーである(株)ジェイティービー、東武トップツアーズ(株)と協業体制を構築し、日本バス協会や各都県バス協会、バス事業者への説明会を逐次実施し、バス事業者へのバス調達の交渉を開始した。また、バス運行に関連する各種システムの検討や、バス運行計画の検討・立案などの業務を計画的に推進している。

2019年度においても、バス調達に向けたバス事業者との交渉を加速化させるとともに、バス運行システムの検討を踏まえた開発、バス運行計画のより詳細な検討など、各種業務を計画的かつ継続的に推進していくため、2017、2018年度に引き続き、近畿日本ツーリスト(株)*と委託契約を締結し、さらに、他の旅行会社2者を事業協力者とする。

なお、契約にあたっては、調達管理委員会にて審議を行い、決議を経て特別契約の締結を行う。

*本資料公表時点：KNT-CTホールディングス